

- ① 以下の文章を読み、[]に当てはまる適切な言葉を、下の【語群】から選びなさい。

2024年1月から、日本で新しい[①]制度が始まりました。これは、国民一人ひとりが将来に備えて自分でお金を増やせるように、国が後押しする制度です。

私たちが銀行に預けている「貯金（預金）」は、基本にお金が増えることはありませんが、大きな利息もつきません。また、最近[②]（物価上昇）が続いているため、物価が2倍になると、持っているお金の価値は実質的に半分になってしまいます。

そこで注目されているのが「投資」です。[③]に税金がかからない[①]制度を利用することで、効率よく教育資金や老後資金を準備することが可能です。

投資の方法には、毎月決まった金額をコツコツと続ける[④]という方法があります。さらに、増えたお金（利息）が次の利益を生む「雪だるま式」の増やし方を[⑤]といい、長期間続けるほど、お金が大きく増える可能性があります。

このように、私たちは「人生 ⑥ 時代」を見据え、自分自身で[⑦]を計画的に行う必要があります。

語群

利益	80年	インフレ	積立投資	100年
ライフプランニング		新NISA	複利	デフレ
				貯蓄

こたえ

- ① () ② ()
 ③ () ④ ()
 ⑤ () ⑥ ()
 ⑦ ()

- ① 以下の文章を読み、[]に当てはまる適切な言葉を、下の【語群】から選びなさい。

近年、日本を取り巻く経済環境は大きく変化しています。特に、1ドルあたりの円の価値が下がる[①]の影響により、海外から輸入するエネルギーや食料品の価格が上昇する[②]（物価高）が続いています。

このような状況下で、私たちが持っている現金の価値を守り、将来の生活を安定させるために、国は「貯蓄から投資へ」という方針を打ち出しました。その中心となる制度が、2024年に開始された[③]です。通常、株式や[④]などの運用で得た[⑤]には約20%の税金がかかりますが、この制度を利用すれば、税金を支払わずに効率的な資産形成が可能になります。

特に、毎月一定額を継続して購入する[⑥]は、価格変動のリスクを抑える効果があります。また、得られた利息を再び運用に回すことで、雪だるま式に資産が増えていく[⑦]という仕組みを活用すれば、長期的な[⑧]を立てる上で大きな助けとなります。私たちは、銀行や[⑨]などの金融機関が提供するサービスを正しく理解し、自ら情報を選択して、変化の激しい時代に備える必要があります。

語群

新NISA	投資信託	インフレ	円高	利益
つみたて投資	円安	証券会社	資産形成	複利

こたえ

- ① () ② ()
 ③ () ④ ()
 ⑤ () ⑥ ()
 ⑦ () ⑧ ()
 ⑨ ()

- ① 以下の文章を読み、[]に当てはまる適切な言葉を、下の【語群】から選びなさい。

2024年1月から、日本で新しい[①]制度が始まりました。これは、国民一人ひとりが将来に備えて自分でお金を増やせるように、国が後押しする制度です。

私たちが銀行に預けている「貯金（預金）」は、基本にお金が増えることはありませんが、大きな利息もつきません。また、最近[②]（物価上昇）が続いているため、物価が2倍になると、持っているお金の価値は実質的に半分になってしまいます。

そこで注目されているのが「投資」です。[③]に税金がかからない[①]制度を利用することで、効率よく教育資金や老後資金を準備することが可能です。

投資の方法には、毎月決まった金額をコツコツと続ける[④]という方法があります。さらに、増えたお金（利息）が次の利益を生む「雪だるま式」の増やし方を[⑤]といい、長期間続けるほど、お金が大きく増える可能性があります。

このように、私たちは「人生 ⑥ 時代」を見据え、自分自身で[⑦]を計画的に行う必要があります。

語群

利益	80年	インフレ	積立投資	100年
ライフプランニング		新NISA	複利	デフレ 貯蓄

こたえ

- ① (新NISA) ② (インフレ)
 ③ (利益) ④ (積立投資)
 ⑤ (複利) ⑥ (100年)
 ⑦ (ライフプランニング)

- ① 以下の文章を読み、[]に当てはまる適切な言葉を、下の【語群】から選びなさい。

近年、日本を取り巻く経済環境は大きく変化しています。特に、1ドルあたりの円の価値が下がる[①]の影響により、海外から輸入するエネルギーや食料品の価格が上昇する[②]（物価高）が続いています。

このような状況下で、私たちが持っている現金の価値を守り、将来の生活を安定させるために、国は「貯蓄から投資へ」という方針を打ち出しました。その中心となる制度が、2024年に開始された[③]です。通常、株式や[④]などの運用で得た[⑤]には約20%の税金がかかりますが、この制度を利用すれば、税金を支払わずに効率的な資産形成が可能になります。

特に、毎月一定額を継続して購入する[⑥]は、価格変動のリスクを抑える効果があります。また、得られた利息を再び運用に回すことで、雪だるま式に資産が増えていく[⑦]という仕組みを活用すれば、長期的な[⑧]を立てる上で大きな助けとなります。私たちは、銀行や[⑨]などの金融機関が提供するサービスを正しく理解し、自ら情報を選択して、変化の激しい時代に備える必要があります。

語群

新NISA	投資信託	インフレ	円高	利益
つみたて投資	円安	証券会社	資産形成	複利

こたえ

- ① (円安) ② (インフレ)
 ③ (新NISA) ④ (投資信託)
 ⑤ (利益) ⑥ (つみたて投資)
 ⑦ (複利) ⑧ (資産形成)
 ⑨ (証券会社)